

令和4年10月27日（土）

「卒業生による講演会」が催されました。



今回講師としてお越しくくださった先生は、中央高校 21 回生人文国際コースご卒業の深谷友大先生と中央高校 26 回生人文国際コースご卒業の檜山隼人先生です。お二方とも生徒が共感するような高校時代の話から、現在の仕事に就くために努力したことまで具体的に話してくださいました。本校の生徒たちが今後の進路を考える上で大いに参考になるような、素晴らしいご講演でした。



深谷先生のご講演の様子



檜山先生のご講演の様子



花束贈呈



生徒会長からお礼の言葉

生徒感想（深谷先生）

私も自分の強みをもっと見つけて、就職するときにアピールしていきたいと思いました。勉強が苦手な部分もあるので、今のうちに勉強する習慣をつけておかなくてはと感じ、なりたいたいものになれるように努力をしたいと思います。

また、「過去は変えられないが、未来は変えられる」という言葉がすごく印象に残りました。思い描いている未来になるかは分からないが自分の全力を出しきるぐらい頑張りたいと思います。

裁判所書記の仕事をしているときいて、高校時代からとても勉強されていたのだろうなと思っていました。ですが、ちゃんと勉強を始めたのは、大学の途中からと聞いて驚きました。深谷さんの話を聞いていて、大切なことは「努力をすること」「時間の使い方」だと学ぶことができました。努力することは難しく、つらいことだと思います。つらく苦しいことでも努力を続けることで目標を成し遂げることができる。社会人になると「責任」と「自覚」が大切になってくる。自分もいつかはそれが分かるようになる。それを今回の講演で知ることができたのは大きな収穫だったと思いました。

生徒感想（檜山先生）

私は当時の檜山先生と同じで、授業中にいねむりが多く、客観的に見ると、少しだらけた日々を送っています。先生のように部活をやっていないにもかかわらず、これではマズいと思っていた中、先生のお話を聞いて、これからはもっと規則正しい生活を送ろうと思うことができました。もう一つは、私は何事にもやる気が起きず、ふとやりたいことを見つけても、「失敗するからいいや」、「そこまで興味がないからやらなくていいや」というように、ちょっとした理由であきらめてしまうことが多く、なかなか新しいことに挑戦することができません。しかし、先生の「恐れずに経験を増やす」という言葉が胸に刺さり、失敗してもいいからとりあえずやってみようと思うことができました。先生のおっしゃっていた通りに、恐れずいろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。

私が将来目指す職業ではコミュニケーション能力がとても大切だと言われました。人脈を広げるにも、どのようにコミュニケーション能力を高められたのでしょうか。また、仕事をする上でモチベーションを上げ、頑張るためにどのようなことをしていますか。

学校生活をしていて、時々事務の方とお話をするのですが、先生という感じがなくて、とても安心感があります。事務の仕事内容を聞いて、生徒のため、学校のためにやっ

てくださって感謝の気持ちでいっぱいです。